

## 周縁的社会集団と近代—日本と欧米におけるアジア史研究の架橋

### 2019年度 総括シンポジウム

# 「アジア諸地域の社会・近代化・史料」

本シンポジウムは、大阪市立大学とイェール大学・シンガポール国立大学(NUS)・上海大学の連携による国際共同研究プログラム「周縁的社会集団と近代」の総括シンポジウムとして開催されるものです。アメリカ、シンガポール、中国などの海外連携研究者をお招きし、日本とアジア諸地域における近世～近代移行期の周縁的社会集団の比較史をめぐり議論します。

議論にあたっては、各地域の社会集団の存在形態と、それに迫る素材である歴史資料の特徴を切り口とします。

具体的には、日本近世の非人集団とその史料のあり方を素材として、比較史的に議論するセッションに加え、インドやオスマン帝国など、アジア諸地域の社会史を研究する海外連携研究者の研究をめぐる複数のセッションで構成します。

なお、英語・日本語による共通テキストを配布し、議論も英語・日本語のバイリンガルで、じっくり行われます。関心をお持ちの皆さんの参加を歓迎します。

**日時** 2019年5月25日(土)、26日(日)、27日(月)

**会場** 大阪市立大学 学術情報総合センター1階 文化交流室

#### ■DAY1 5月25日(土) 9:30～17:00

Welcome Session 挨拶 櫻木弘之副学長、小林直樹文学研究科長、塚田孝教授

#### Session I 日本近世とアジア諸地域における社会集団と史料 (9:50～12:20)

塚田孝氏の近世日本の非人集団と史料に関する共通テキストを素材として、アジア諸地域を研究する海外ゲストにコメントしていただき、議論を行います。海外ゲストのコメントでは、各自のアジア地域の研究をふまえて、社会集団とその史料、アプローチなどについて発言を求めます。議論を通じて、日本とインド、中国、オスマンの社会集団と史料のあり方を相互に比較します。

#### Session II インドの経済変容と社会集団 (13:30～15:00)

ギヤネシュ・クダイシャ氏の研究(インド社会経済史)をめぐるセッション

#### Session III インドにおける周縁的社会集団 (15:15～16:45)

アヌ・ジャラス氏の研究(インドの文化人類学的研究)をめぐるセッション

#### ■DAY2 5月26日(日) 9:00～17:00

#### Session IV 現代インドにおける「法と社会」(9:00～10:30)

ロヒート・デー氏の著書 *A People's Constitution: The Everyday Life of Law in the Indian Republic* (2018) を共通テキストとして、周縁的な社会層と法との関係、法史料を通じて周縁的社会層の声を聞く方法などについて、インドと諸地域の比較を軸に議論します。

#### Session V オスマン帝国の近代化と「動物」(10:45～12:15)

アラン・ミハイル氏の論文「狡兎良狗の帝国—オスマン期カイロの街路における暴力と愛情—」(『都市文化研究』21号、2019)を共通テキストとして、近代化過程の社会変容および自然・動物と人間の相互関係の変容について、アジアの諸事例を提示して議論します。

#### Session VI インドの周縁的社会集団と史料 (13:30～14:45)

18世紀のインドにおいてカースト社会から周縁化された人々とその史料に関する小谷汪之氏の研究報告をめぐって議論を行うセッション

#### Session VII 総括セッション (15:00～17:00)

Session I～VIをふまえて、総括的な議論を行うセッション。Session Iを基軸としながら、日本とアジアの社会集団と近代化の相互比較に関する論点と課題について、2人の研究者に総括的なコメントをしていただき、議論します。

#### ■DAY3 5月27日(月) オプション企画 10:00～17:00 ごろ

近世～近代大阪の社会集団の歴史に関わるフィールド・トリップ。行先は、中之島から道修町や大阪城の周辺地域のほか、道頓堀周辺から釜ヶ崎・飛田にかけての都市周縁地域を予定しています(プログラムメンバー限定ツアー)。

連絡・問い合わせ先 「周縁的社会集団と近代」事務局

佐賀 朝(文学研究科教授) E-mail: CYI03126@nifty.ne.jp